

第19回 数学教育学会教員講習会案内

一般社団法人 数学教育学会

会長 岡本 久

研究運営部会 部会長 黒田恭史

講習会開催の趣旨：

数学教育学会では、これまで幾多の算数・数学教育に関する研究を行い、研究成果を公にしてきました。現在では、学会誌の J-STAGE での公開も行っており、学会員でなくとも、本学会の最先端の研究成果に触れることが可能となりました。

そこで、非会員である全国の学校現場の先生方にも、その成果や具体的な教育内容をお知りいただき、日々の算数・数学の教育実践に活用していただくことを目的に講習会を開催する次第です。学会員の皆様も多数のご参加をよろしくお願い申し上げます。

また、本学会の学会員（正会員、学生会員）に入会されましたら、春季年会、夏季研究会、秋季例会などへの参加・発表も可能ですので、ご興味のある方は学会ホームページで入会方法を確認してください。

日時：2026年2月8日（日）14：00～16：00

方法：Zoom によるオンライン開催（後日、オンデマンド配信）

対象：学会員，学校園教員（非会員），教員養成課程学生（非会員）

内容：

14：00－15：30 講演「算数・数学における探究学習の研究動向と展望」

熊本大学 吉井貴寿

15：30－16：00 意見交換・困りごと相談

講演内容：

前半では、「算数・数学における探究学習」に関わる学術的な研究や教育実践について簡単に整理します。その上で、数学的探究の指導力に着目し、その職能開発が必要であることを論じます。後半では、日本の教師文化に根付いた伝統的な職能開発方法として「授業研究」に着目し、その実態や研究動向を整理・紹介します。最後に、それら2つの知見を合わせ、「数学的探究の指導力を育むための授業研究」について、研究の可能性と構想を述べます。

講師略歴：

吉井貴寿（Takatoshi YOSII）

熊本大学 教育学部 准教授

早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程修了 博士（教育学）

数学教育学会 正会員

主著 ・吉井貴寿(2014), 定理の導出に関する研究—三角形の決定条件から広がる学習—, 数学教育学会誌, Vol. 55, No. 1・2, pp. 1-9, 数学教育学会.

・吉井貴寿・花木良・舟橋友香(2025), 教科専門科目における探究成果発表会に関する実践

的研究：数学科「線形代数学 I」での実践と分析, 日本教科内容学会誌, Vol. 11, No. 1, pp.49-60, 日本教科内容学会.

申し込み方法：

下記, URL にアクセスし申し込みを行ってください。申込終了後, 申込内容が返信されます。

<https://forms.gle/sEz5fa2ijciXXmD88>

申し込み締切日：2026年1月31日（土）

参加方法：

Zoom によるオンライン参加を希望される場合, 事前に Zoom の URL 等をお送りいたしますので, そちらを用いて参加してください。

オンデマンド参加を希望される場合, 会の開催後に限定公開でアップします。後日, URL 等をお送りしますので, 公開期間内にご視聴ください。

学会ホームページ・入会等に関する各種問い合わせ先：

ホームページ <https://mes-j.or.jp/>

問い合わせ先 meskenkyu@gmail.com